

【記入例】DX・経営力強化事業計画書

様式第2号

(1) 企業の現状と経営上の悩み

- ・ 自社の現状（強み・弱み）：

創業以来の熟練工による「目視検査」によって、不良品ゼロの高い品質を維持している。しかし、検査工程が完全に属人化しており、特定のベテラン社員が不在の際には生産ラインが停滞する「作業工程のボトルネック」が経営上の大きな弱みとなっている。

- ・ デジタル化・DXに関する具体的な悩み：

①1個あたり30秒かかる目視検査を全数実施しており、増産依頼があっても人手不足で対応を断念せざるを得ない状況にある。
②不良品の発生原因が「どの機械の、いつのロットか」というデータと紐づいておらず、不良率低減に向けた根本的な対策（予兆管理）ができていない。

(2) DX・IT投資の検討状況（該当する項目にチェックをしてください）

- ・ 導入を検討している分野（複数回答可）：

- 業務プロセスの見直し・効率化
- ITツール・基幹システムの導入
- バックオフィス業務（経理等）の効率化
- 製造・販売現場の自動化

- ・ 現在の検討段階：

- 導入したい製品の候補が決まっており、見積り等を取得中である
- 解決したい課題に合うシステムの目星はついているが、選定中である
- どのようなシステムが良いか分からないため、専門家の提案を希望する

(3) 期待される改善効果（目標）

- ・ 削減したい作業時間：月間 140 時間程度の削減を目指す
- ・ 削減したい経費：月間 250,000 円程度のコストカットを目指す
（不良品廃棄ロスの削減15万円、人件費・残業代削減10万円）
- ・ 定性的な目標

情報共有のスピードを上げ、短納期案件への対応力を強化したい。

(4) 賃上げ方針と取組意欲

- ・ 賃上げ目標値（雇用者給与等支給額の増加率）：年率 3.0 %
- ・ 本業務への対応体制：
- 専門家との面談（計6回以上）には、原則として代表者（社長等）が同席する
- 福知山市が主催する「DXセミナー」に参加した（又は参加予定である）